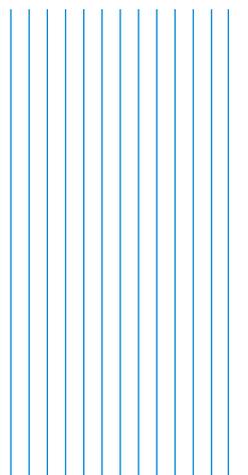




# 岡山 くりん

**NO.72**  
**2026. 1**



一般社団法人  
岡山県産業資源循環協会

🕒 お得な自動車共済への見直しはご興味ありませんか？ 🕒

岡山県産業資源循環協会会員企業の皆様へ

# 自動車保険の 見直しをしませんか？

会員企業の皆様に  
おかれましては

**団体割引**

をご利用いただけます

会員企業の皆様には  
団体割引 10% が適用されます

**10%**

会員企業のお車は勿論、役員・従業員の皆様!!  
同居のご家族、別居の扶養親族のお車も OK!!

他社でご契約中の等級、事故有期間も引継ぎます！

お見積や補償内容等のご相談お待ちしております！



●本チラシは集団団体の概要を記載したものです。詳しい内容につきましては取扱担当  
支部の外務職員までお問合せください。●団体割引率10%は、令和7年4月1日～令和8年3月  
31日までを共済期間の初日とする共済契約に適用されます。割引率は団体のご契約台数に  
より毎年見直され、変動する場合があります。●ご契約の際には、必ず「重要事項説明  
書」をお読みください。●自動車共済にはじめてご加入の際には、ご契約のお車の台数に  
関係なく、共済掛金とは別に出資金（1口1,000円）または員外利用料が必要となります。

お問い合わせ先

西日本自動車共済協同組合 岡山県支部  
外務職員 河口 孝徳

携帯：090-8823-3099

FAX：086-246-3375

E-mail：kuramae1001@gmail.com

岡山市北区西古松 237-126 松本ビル 3F

 **西日本自動車共済協同組合**

(岡山県支部) 岡山市北区西古松237-126 TEL:086-246-3355  
(本 部) 福岡市博多区東比恵2-15-25 TEL:092-441-5901

◆年頭あいさつ◆

- 2026年 年頭のご挨拶 一般社団法人岡山県産業資源循環協会 会長 大塚 雅司 2  
より良い環境に恵まれた持続可能な社会を目指して 岡山県環境文化部 部長 國重 良樹 3  
自然との調和を大切に 市民が中心となり持続可能な未来をつむぐまち岡山 岡山市環境局 局長 板野 利泰 4  
循環経済の原動力 倉敷市環境局 局長 外村 博之 5  
新年のご挨拶 公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長 永井 良一 6

◆行政NEWS◆

- 産廃の違法運搬を食い止める！ ～抜き打ち検査を実施しています～ 7  
災害廃棄物発生時における自治体と産業資源循環協会の連携強化について 8

◆特集◆

- 第3回廃材アートコンテスト 9

◆事業報告◆

- 石川県能登半島地震の災害廃棄物仮置場を視察しました 16  
災害廃棄物研修会（石川県産業資源循環協会による講演） 18  
全国産業資源循環連合会 令和7年度第2回中国地域協議会 松江にて開催 19  
第1回「資源循環と環境を考える全国大会」開催 20  
宿泊視察研修会REPORT 21

◆支部ニュース◆

- 岡山西支部・岡山中央支部合同貝殻山クリーン作戦 22  
倉敷支部 第29回 令和7年度 倉敷地域環境クリーン作戦 23  
倉敷南支部 今年も旧鷲羽山スカイラインのクリーン作戦を実施しました 24  
井笠支部 井笠支部クリーン作戦 25  
備北支部 備北支部環境クリーン作戦 26  
津山支部 第29回津山支部環境クリーン作戦 27

◆青年部会のページ◆

- 第15回カンファレンス in さっぽろ 開催報告 28  
青年部会勉強会を開催 29

◆委員会報告◆

- 全国産業安全衛生大会に参加して 30

◆趣味のコーナー◆

- 私の趣味は「組み合わせること」 32

◆会員紹介コーナー◆

- 会員企業紹介 岡山東支部 株式会社 日本資源開発社 33  
会員企業紹介 賛助会員 公益財団法人岡山県環境保全事業団 34

◆事務局だより◆

- 研修会の開催報告 35  
新入会員のご紹介／令和7年度今後の行事予定のお知らせ／事務局からのお知らせコーナー 36  
表紙写真ガイド／編集後記 37



\*右下のマークは、産業廃棄物適正処理のマスコット「てき丸君」です。

# 2026年 年頭のご挨拶

一般社団法人岡山県産業資源循環協会 会長 大塚 雅司



謹んで新春のお慶びを申し上げます。会員の皆様におかれましては、健やかに輝かしい新春をお迎えのことと心よりお祝い申し上げます。また、日頃より当協会の事業活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、産業資源循環の推進にご尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

新しい一年が始まりましたが、私たちを取り巻く環境は、依然として物価高騰やエネルギーコストの上昇が続く、予断を許さない状況にあります。こうした厳しい経済情勢の中、当業界が持続可能な発展を遂げるためには、喫緊の課題である労働力不足への対応が不可欠です。折しも昨年12月24日の新聞報道で大きく報じられた通り、資源循環分野における外国人就労の枠組みが一段と進展を見せています。これは、当業界が社会インフラとして維持・発展していくための大きな転換点となります。こうした新たな活力を業界全体の力へと変え、地域社会を支える資源循環インフラとしての責任を全うすべく、私たちは組織や現場の在り方を時代に合わせてアップデートしていかなければなりません。

時を同じくして、「資源循環の高度化法」が本格的な運用フェーズに入っております。当業界にはこれまで以上に質の高い循環型社会への寄与が求められており、資源の有効活用はもはや努力目標ではなく、避けて通ることのできない責務となりました。単なる廃棄物処理に留まらず、資源として最大限に価値を引き出す「高度化」への挑戦は、私たちの社会的価値をさらに高める契機となると確信しております。

一方、防災面に目を向けますと、我々が過去に経験した西日本豪雨の教訓を改めて胸に刻む必要があります。災害時における廃棄物処理の迅速な対応は、地域の安全と復旧を支える要です。南海トラフ巨大地震等の大規模災害への懸念が拭えない今、当協会としては会員間のリアルタイムな情報共有と広域連携の強化を最重要課題として推進してまいります。いかなる事態においても、地域を支え抜く強靱な体制づくりに全力を注ぐ所存です。

さて、本年は協会運営において役員改選という大きな節目を控えております。組織の体制を新たに整え、これまでの伝統を継承しつつも、時代の変化に即応できる柔軟な運営を目指してまいります。会員の皆様との対話をこれまで以上に大切にし、一丸となってこの変革期を乗り越えてまいりたいと考えております。

2026年は、干支の「午(うま)」にあたります。午には、周囲を明るく照らしながら勢いよく走り抜けるという意味が込められています。この一年、午のように「着実に前進する力」をもって、資源循環の実現と災害に強い地域づくりへ、皆様と共に邁進してまいりましょう。

皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# より良い環境に恵まれた 持続可能な社会を目指して

岡山県環境文化部 部長 **國重 良樹**



明けましておめでとうございます。

一般社団法人岡山県産業資源循環協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の環境文化行政の推進に多大な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、産業廃棄物の適正処理の推進、リサイクルに係る各種普及啓発、各地域における不法投棄物撤去事業をはじめ、近年では小学生を対象とした廃材アートコンテストの開催など、幅広い環境保全活動に熱心に取り組まれており、深く敬意を表します。

また、昨年度に引き続き今年度も、市町村が災害発生時に迅速かつ円滑に仮置場を設置し対応できるよう、県内各地で開催した災害廃棄物仮置場計画の検討会議等にも御尽力いただいているところであり、あらためてお礼申し上げます。

さて、本県では、令和7年4月からスタートさせた新たな県政推進の羅針盤である「第4次晴れの国おかやま生き生きプラン」に基づき、循環型社会の形成やカーボンニュートラルへの対応など、本県の持続的な発展につながる施策を推進しており、昨年度に一部改訂した「岡山県環境基本計画（エコビジョン2040）」に基づき、食品ロスの削減、海ごみによる海洋汚染等の課題解決に向け、本県の豊かな環境を次世代に引き継ぎ、持続的な発展につながる事業に全力で取り組んでいるところです。

一方、今年度で第5次岡山県廃棄物処理計画の目標年度が到来することから、来年度は、目標達成状況や各施策等の進捗状況を点検した上で循環型社会への転換をさらに進めることができるものとなるよう、各方面から御意見を頂きながら次期計画を策定することとしております。

豊富な経験や人材を有する貴協会と会員の皆様方には、産業廃棄物の適正処理はもとより、さらなる循環型社会の形成の推進に向け、3Rの促進や県民意識の醸成等により一層の御理解と御協力を賜りますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。

終わりに、皆様方の益々の御発展を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

# 自然との調和を大切に 市民が中心となり 持続可能な未来をつむぐまち 岡山

岡山市環境局 局長 板野 利泰



令和8年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

一般社団法人岡山県産業資源循環協会並びに会員の皆様におかれましては、平成5年の設立以来、長年にわたり、環境クリーン作戦や廃棄物の適正処理の推進に励まれ、本市の生活環境の保全や循環型社会の形成に多大な貢献を賜り、心より感謝を申し上げます。

また、環境学習親子エコツアーの開催やキッズ廃材アートコンテストを通じて「限りある資源を子どもたちにつなぐために。」を掲げる貴協会の持続可能な社会の実現に向けた取り組みに、深く敬意を表します。

さて、脱炭素化と資源循環の取組を一体的に促進する目的に「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」が令和7年11月21日に全面施行されました。

この法律では、再資源化のための廃棄物の収集、運搬又は処分の事業並びに再資源化の実施に用いられる技術及び設備の高度化を促進することにより持続可能な形において資源を効率的、循環的に有効利用することで廃棄物の発生を抑制や持続可能な形で新たな経済成長を目指すものであります。また、気候変動や生物多様性の保全、環境汚染の防止等の環境面の課題の解決に寄与する目的とすることから、廃棄物処理にとっても大きな変革の元年になることと存じます。

本市におきましても引き続き廃棄物の適正処理等の推進を図るとともに、資源循環を促進するよう循環資源や再生可能資源を活用した資源循環システムの構築等必要な措置を講ずることができるよう努める次第でございます。

また、近年の社会経済活動により、環境への負荷が増大し、地球温暖化をはじめとした気候変動や生物多様性の損失などの環境汚染がより深刻さを増しております。

そのため、本市ではすべての市民の参加により、自然と共生し、環境への負荷が小さい、持続発展が可能な都市を実現することを目指し、岡山市環境基本条例を制定し、令和7年4月に施行したところであります。

さらには岡山市環境基本計画、岡山市地球温暖化対策実行計画を見直し、これらの計画の基、着実に2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを達成できるよう、引き続き循環型社会の形成や脱炭素社会の推進に取り組み「自然との調和を大切に 市民が中心となり 持続可能な未来をつむぐまち 岡山」を目指す所存でございます。

貴協会並びに会員の皆様におかれましては、本市の廃棄物の適正処理、生活環境の保全及び循環型社会の形成に関しまして、引き続きお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

また、低濃度PCB廃棄物におきましては、令和9年3月31日の処理期限までに適切な処理が実施できるよう、ご支援並びにご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様の益々のご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 循環経済の原動力

倉敷市環境局 局長 外村 博之



令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

一般社団法人岡山県産業資源循環協会並びに会員の皆様におかれましては、平素より倉敷市の産業廃棄物行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、産業廃棄物の適正処理やリサイクルの推進に加え、業界関係者の育成や知識の普及・啓発など多岐にわたるご活動を通じて循環型社会の形成に尽力されましたことに、深く敬意を表します。これらの取り組みは地域の環境保全と持続可能な社会の実現に不可欠であり、会員の皆様の日々のご努力に改めて感謝申し上げます。

さて、国の第五次循環型社会形成推進基本計画（以下、「基本計画」という。）では、天然資源からの一方的な生産・消費・廃棄の流れから脱却し、生産や廃棄物処理の各工程が次につながる重要な過程として機能する「循環経済（サーキュラーエコノミー）」を国家戦略に位置付けています。これは、気候変動や生物多様性の損失、環境汚染などの課題解決を図りつつ、産業競争力の強化や経済安全保障といった社会的課題にも対応する取組みであり、廃棄物処理の観点から共生の推進を目指すものです。昨年11月に全面施行されたいわゆる「再資源化事業等高度化法」は、脱炭素化と再生材の質・量の確保という要請に応えるとともに、資源循環産業の発展を目指すものであり、基本計画を具体的かつ強力に推進する施策として積極的な活用が期待されています。従前より廃棄物処理に携わる皆様が培ってこられた「高度な知識・技術」、「豊富な経験」、「業者間連携」を活かして次なる生産資源を提供し続けていることこそが、循環経済の原動力になっております。

一方、基本計画においては災害廃棄物処理についても重要な柱と位置付けられており、災害に伴って発生する廃棄物の迅速な処理は被災地の復旧・復興を支える上で極めて重要です。倉敷市では発災時の実効性を高めるため、災害廃棄物処理計画の改定を3月に控えており、国の災害廃棄物対策指針の改定を踏まえた発生量推計の見直しや、人的・物的支援の受入れ体制を事前に整備する「災害廃棄物処理受援マニュアル」の策定を盛込む予定です。今後も過去の教訓を踏まえ、平時から貴協会および会員の皆様と連携し、災害発生時に迅速に対応できる体制整備に努めてまいります。

倉敷市としても、技術開発、人材育成、地域活動への支援など必要な施策に積極的に取り組んでまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝・ご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶

公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長 永井 良一



明けましておめでとうございます。

旧年中は、当連合会の諸事業に対し、皆様の多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、1月に米国で第二次トランプ政権が発足し、相次いで打ち出される「自国第一主義」の外交政策に世界が右往左往した一年でした。一方、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ侵攻が長期化するにつれ、国際協調体制の重要性が一層強く指摘されるようになりました。

このような国際情勢の中にあって「自国第一主義」の流れは、温暖化対策等の地球規模の環境政策の方向に多大な影響を与えることになるかもしれません。

わが国の憲政史上初の女性首相として昨年10月に誕生した高市政権が、今後どのような舵取りをされるかに大きな期待をもって注目していきたいと思います。

さて、本業界を取り巻く状況については、主に二つの大きな出来事がございます。

その一つは、昨年5月に制定された「再資源化事業等高度化法」（資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律）が11月に全面施行されたことです。同法は、高度な技術を用いた再資源化事業を促進することにより、再生材の質と量の確保及び温室効果ガス排出量の削減を目指すものです。

もう一つは、廃棄物処理法の改正に向けた議論が行われていることです。今回の改正は、「不適正ヤード問題」、「PCB廃棄物対策」、「災害廃棄物対応」の3項目が課題とされています。いずれも重要な課題ですが、本業界の関わりの深さから災害廃棄物への対応に関心もたれるところです。

当連合会は、再資源化事業等高度化法及び廃棄物処理法改正について、動静脈連携による資源循環の促進と災害廃棄物の迅速かつ適正な処理を図るため、これまで国への要望等の活動を行ってきました。動静脈連携では、静脈産業の技術力を最大限活用するとともに、特に小規模零細な静脈企業の役割を踏まえた制度運用を国に求めております。

また、外国人材を含めた人材の確保・育成のための基盤整備や、労働災害防止への体制強化などのさまざまな課題に本年も取り組んでまいります。

皆様の尚一層のご指導、ご鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。

結びに本年が皆様にとりまして、健やかな一年となりますようにお祈りいたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

岡山県からのお知らせ

# 産廃の違法運搬を食い止める!

## ～抜き打ち検査を実施しています～

### 1 取組の概要

岡山県では、産業廃棄物の適正処理を確保する方策の一つとして、県外からの産業廃棄物の搬入に係る事前協議制度を設けています。

この制度により、県外から搬入される産業廃棄物の適正処理に一定の効果が上がっていると考えておりますが、その一方で事前協議を経ることなく県外から産業廃棄物が搬入されるケースも散見されます。

こうした背景から、平成15年度から年に数回、警察の協力を得て主要幹線道路において産業廃棄物を運搬している車両の抜き打ち検査を実施し、廃棄物の種類・性状、排出事業者、運搬先等を確認するとともに、マニフェストとの突合、必要書類の点検等を行っています。

### 2 路上検査の結果

令和7年は路上検査を2回実施し、第1回は岡山県単独で、第2回は岡山市及び倉敷市と時期を統一して実施しました。

#### (1) 第1回(6月)

	岡山県
実施箇所数	3箇所
停車指示車両数	37台
うち産廃関係車両数	20台
<b>うち指導台数</b>	<b>4台</b>

#### (2) 第2回(10月)

	岡山県	岡山市	倉敷市
実施箇所数	3箇所	1箇所	1箇所
停車指示車両数	43台	13台	4台
うち産廃関係車両数	22台	6台	3台
<b>うち指導台数</b>	<b>2台</b>	<b>6台</b>	<b>2台</b>

### 3 違反事項と対策

○過去実施分も含め、多い指導事項は、**車両への表示不備、有効な許可証の写しの不携帯、マニフェストの不携帯や記載不備**であり、すぐに改善できる内容ですので、この機会に確認をお願いします。

○**受託物を「産業廃棄物ではない」と思いこみ運搬するケース**も見られます。

法令違反を未然に防止するため、契約締結時などの機会を捉えて排出事業者から排出工程等を聞き取り、不明な点は所管行政庁にあらかじめ確認しておくなど、日頃から常に意識するようにしてください。

環境省中国四国地方環境事務所からのお知らせ

## 災害廃棄物発生時における自治体と産業資源循環協会の連携強化について

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

2年前の1月1日には、能登半島地震の発生があり大変な幕開けとなりました、今も多くの方が避難生活を送られております。お見舞い申し上げます。

地震により発生しました災害廃棄物の処理においては、石川県産業資源循環協会を中心に全国の協会のご協力のもと着々と進められております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

本年も年始早々不穏な世界情勢をはじめ、直近で1月6日に、鳥根県東部で震度5強の地震が発生しました。

こうした災害の頻発を受け中国四国地方環境事務所では災害発生時(南海トラフ地震等の巨大災害を想定)中国ブロック、四国ブロックの自治体、廃棄物関係事業団体の円滑な連携を目指して昨年度から中国四国両ブロック合同で訓練を実施しております。

本年度も中国四国ブロック合同の図上訓練を令和7年11月10日11日の2日をかけて下記の通り実施いたしました。

1 日 目	①ブロックを越えた広域連携の応援要請手順を確認すること ○中国・四国のブロックを超えた広域連携体制を構築(応援要請)するための手順の確認
	②応援・受援に必要な準備を確認すること ○ブロックを超えて応援(人員と車両による応援)に行くにあたって、応援側で準備する事項の確認(振り返りでは事前に備えておくべき事項の確認) ○応援(人員と車両による応援)を受け入れるに際して、必要となる受入れ準備事項とそれを確保するための手順等の確認
2 日 目	③ブロック外(中国ブロック)での災害廃棄物の広域処理に係る手順の確認と検証 《具体的な目的、検証項目》 ○広域処理を行う場合の手順の確認、検証 ○処理施設一覧表の活用可能性、改善点 ○広域処理を実施する上での問題点の抽出

こうした訓練は1回だけでなく継続的に実施することが重要であり、当事務所におきましても、両ブロック協議会を通じて引き続き実施してまいります。

また、本年3月には、中国地域協議会と四国地域協議会で災害廃棄物処理の相互応援協定を締結予定とお聞きしておりますので協会の皆様にも参加いただいての訓練についても実施を検討してまいりたいと考えております。その節は皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



令和7年度訓練実施風景

最後に環境省におきましても、災害時廃棄物処理の円滑な処理を目指して、行政と民間団体の連携協定締結の支援、処理に関する手続き円滑化等に関し法令等の改正を進めていく予定でございます。

最後になりましたが、今後とも災害廃棄物処理へご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

# 第3回 廃材アートコンテスト



# 特集 第3回廃材アートコンテスト

第3回を迎えた今回の廃材アートコンテストは、これまでの反響やInstagramでの告知が功を奏し、前回は大幅に上回る156点もの作品が寄せられました。年々高まる作品の質と独創性に加え、小学校の授業や児童クラブ単位での参加も目立ち、趣向を凝らした力作の数々に審査は困難を極めました。

- 募集対象 岡山県内の小学生
- 募集期間 令和7年9月1日～10月31日
- 応募作品 156点
- 一次審査 令和7年11月11日、写真による審査
- 二次審査 令和7年12月5日、作品による審査
- 表彰作品 最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞2点、入賞15点
- 作品展示 令和7年12月16日～12月20日、岡山県天神山文化プラザ、表彰作品20点
- 表彰式 令和7年12月20日、岡山県天神山文化プラザ、受賞関係者48名参加

## 【最優秀賞】



作品名：「のぞけば広がるリトルな世界」  
倉敷市立第5福田小学5年生  
秋山琴音さん

## 【優秀賞】



作品名：「カラフルなアイス屋さん」  
新見市立新見南小学校2年生  
高瀬夏希さん

## 【優秀賞】



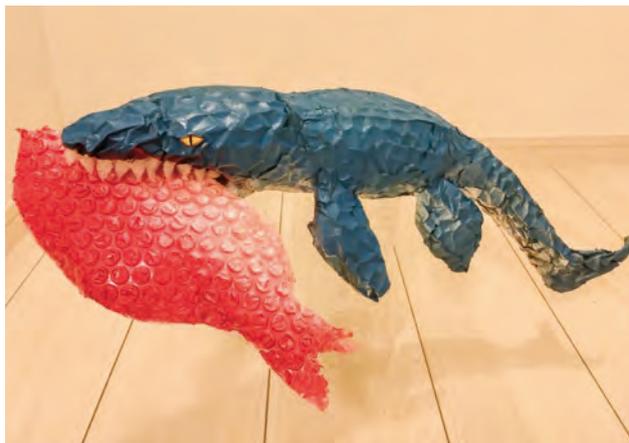
作品名：「がんばり屋のロバさん」  
岡山市立吉備小学校1年生 長谷川翠葉さん

【特別賞(かっこいいde賞)】



作品名：紙100%！！リサイクルカー！  
倉敷市立長尾小学校5年生  
小野凌太郎さん

【特別賞(ジュラシックde賞)】



作品名：魚を捕らえたモササウルス  
岡山市立庄内小学校5年生  
古賀朝陽さん

【入賞】

作品名：水族館の生き物たち  
かわいい金魚  
ゆらゆら水族館  
てんしのやさしいおにわ  
おうさまのねこ  
思い出の詰まった貯金箱  
ボタンのおさかな  
はいぎイーグル

玉野市立宇野小学校  
岡山市立庄内小学校  
勝央町立勝央北小学校  
朝日塾小学校  
倉敷市立第五福田小学校  
総社市立常盤小学校  
津山市立一宮小学校  
ノートルダム清心女子大学附属小学校

1年生 國信 理帆  
1年生 古賀 大雅  
1年生 古山 優芽  
1年生 西 菜月  
2年生 姫路 桜丞  
3年生 今井 深緑  
3年生 五味 愛海  
3年生 忠澤 修平



お花のかばん  
 未来にはばたけ！オウム  
 イルカの海  
 おれのヒツジ2015  
 テンペストドラゴン  
 アース龍神  
 メタル・バタフライ

朝日塾小学校  
 岡山市立芥子山小学校  
 津山市立西小学校  
 岡山大学附属小学校  
 岡山市立三勲小学校  
 玉野市立築港小学校  
 岡山市立南輝小学校

3年生 西 心菜  
 4年生 寺尾 優希  
 4年生 土居 橙治  
 4年生 中島 將利  
 5年生 氏平 夏海  
 5年生 綱嶋 空  
 6年生 加藤 華



## 作品展示

昨年に引き続き「岡山県天神山文化プラザ」で作品展示会と表彰式を開催いたしました。施設の改修工事のため一部の展示室が利用できず、同じ期間中に開催している団体が例年より少ない中でしたが、廃材アート展に延べ200名を超える方々にご来場いただきました。会場を訪れた親子連れからは、「このような活動があることを知らなかった」「ぜひ次回は参加したい」といった声が多く寄せられ、本事業への関心の高さが伺える機会となりました。



## 表彰式

展示最終日には同会場にて表彰式を執り行いました。当日は受賞者とそのご家族など関係者48名、協会スタッフ14名が出席。最優秀賞、優秀賞、特別賞、および入賞に輝いた受賞者に対し、大塚会長より表彰状と副賞が授与されました。



## イベントコーナー「みんなのツリー作り」

展示会場に廃材の紙袋でできた「ツリー」が登場。受賞者や来場した子供たちが段ボールのオーナメント（飾り物）に、「夢」や「願いごと」、「がんばりたいこと」などを書き込みツリーに貼り付けて『みんなのツリー』が完成しました。



「みんなのツリー」は夢と希望の「守り紙(神)」☆◇



# 石川県能登半島地震の 災害廃棄物仮置場を視察しました

令和7年10月7日、能登半島地震に伴う災害廃棄物処理を行っている（一社）石川県産業資源循環協会が管理運営している七尾市と輪島市の仮置場2ヶ所を、当協会の災害廃棄物委員会の藏本委員長以下11名（岡山県職員2名を含む。）が視察しました。

朝6：20岡山駅に集合し、新幹線とサンダーバードを乗り継ぎ10：00金沢駅に着き、貸切バスに乗り換えて13：00七尾市仮置場に到着。七尾市仮置場を視察した後、大きな被害を受けた和倉温泉街を經由し15：30輪島市仮置場に到着。視察を終えて宿泊ホテルに着いたのは18：30とハードなスケジュールの視察となりました。

## 石川県方式

- ・石川県では、能登半島地震に伴う災害廃棄物処理体制として、公費解体は石川県構造物解体協会が、一次仮置場以降の廃棄物処理は石川県産業資源循環協会が受け持ち、処分は県外業者も含め連携を取りながら行っている。
- ・運搬体制では、車両による陸上輸送のほか鉄道輸送や海上輸送も組み合わせ、大量の廃棄物を迅速かつ適正に処理する体制としている。
- ・石川県産業資源循環協会が行う仮置場では、「石川県方式」と呼ばれる石川県独自の管理方法をとっている。

### 【仮置場管理における石川県方式】

- ・一次仮置場のみで二次仮置場は設けない。
- ・一次仮置場では計量しないで、処分先の受入量ベースにkintoneを利用した災害廃棄物処理量管理システムを石川県協会が構築し、県・市・協会がリアルタイムで処理状況を把握できるようにしている。

注：「kintone」とは、サイボウズが提供するクラウドサービスで、プログラミング知識がなくても業務管理アプリを簡単に作成できる。

## 七尾市太田工業用地仮置場（七尾市大田町112）

- ・石川県産業資源循環協会会員の（株）家村商店の古山幸一様に視察対応いただきました。
- ・この仮置場は、能登半島中央部東側の七尾湾の港に立地する公費解体廃棄物の仮置場で、木くずは船による搬出も行っている。
- ・仮置場の敷地面積は約1haで、当初は草原であったが敷鉄板のコスト等を勘案しアスファルト舗装にしている。
- ・七尾市には全部で3か所の仮置場があり、現在の受入量は合計で一日に4t車300～400台程度で、ピーク時には500～600台の搬入があった。
- ・被災地へのアクセス道路の復旧工事の遅れから廃棄物の処理が長期化し、その結果、随意契約の期間が異例の長さとなっている。





### 輪島市ソフトボール場仮置場（輪島市三井町洲衛1）

- ・石川県産業資源循環協会会員の(株)タケエイの梅村真二郎様に視察対応いただきました。
- ・この仮置場は輪島市の東部に位置し、輪島市中心部からやや内陸に入ったエリアで、幹線道路からアクセスしやすいため輪島朝市などの大量の災害廃棄物を処理する重要拠点となっている。
- ・敷地面積はソフトボール場4面の約3haで、公費解体廃棄物を受け入れている。
- ・ソフトボール場入口付近のスペースでは、片付けごみも受け入れている。
- ・片付けごみの収集運搬は、住民の直接搬入による混雑を避けるため、輪島市が建設業組合に委託して行っており、収集運搬車が被災地を巡回し、家の前に出された「災」マークの表示されたごみを分別回収する方式をとっている。
- ・能登半島地震で排出された廃棄物の量は、東日本大震災、阪神・淡路大震災に次ぐ歴代3番目の規模で当初260万トンと推定されたが、実際には410万トンを超えており早期の処理が求められている。
- ・輪島市の家屋は大型のものが多く梁や柱が多量に排出され仮置場からの運搬効率の阻害となっている。また、運搬費の高騰等もあり運搬効率を上げるため、環境省からの要請で現在は破砕機を導入し破砕後物を搬出する方法に変更している。

### その他視察を通じて得た情報

- ・七尾市から輪島市に向かう途中、震度6強を観測した和倉温泉街に立ち寄った。20軒程の旅館は、地盤の沈下や液状化で傾き、大きな亀裂が入るなどの被害を受け復旧の見通しが立たず、老舗旅館の「加賀屋」等ではこれから公費解体が始まるとのこと。
- ・七尾市から輪島市に向かう途中の幹線道路は、現在も地盤の隆起、土砂崩れ、路面の損壊等があり片側交互通行の区間がかなり残っていた。
- ・石川県産業資源循環協会では、大規模で長期にわたる災害廃棄物業務を行うに当たり、行政や他県協会との調整、また協会員との調整及び業務の進行管理等を行うため「災害対策室」を設置し、事務局は会計処理のみを行うことで協会の通常業務に支障ない体制を構築していた。災害対策室長は会員企業から出向してもらい、事務員は派遣職員で対応している。



今回の視察にあたり、お忙しい中対応いただいた石川県産業資源循環協会の皆様に心より感謝申し上げますとともに、石川県の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

# 災害廃棄物研修会

## (石川県産業資源循環協会による講演)

### 令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨に関する 災害廃棄物処理の取組概要について

令和8年1月21日「災害廃棄物研修会」が開催されました。本研修は、昨年10月の石川県仮置場視察研修に続き、石川県協会のご協力により実現したもので、会長の高山氏及び災害対策室長の綿谷氏の両名を講師としてお招きし、壮絶な現場対応の記録を語っていただきました。

当日は、岡山県協会の災害時初動対応会員41名、岡山県、岡山市、倉敷市の職員7名他、総勢52名が参加しました。

#### ●災害の現場の「熱量」と「リアリティ」

被災から2年、昨年末にようやく公費解体が完了(別管理建物を除く)したばかりで、いまだ震災対応の渦中にいる当事者だからこそ発せられる言葉には、圧倒的な説得力がありました。石川県協会が行った「参加会員を対象とした災害業務説明会の開催」、「参加車両の車検証の提出」、「クラウド型業務管理フォーム kintone による廃棄物管理システムの構築」、また、毎週県庁で開催される「市町・県・環境省・関係団体等による打合せ会議」など通じ、スピーディーな現状把握と問題解決が行われ、災害業務の進行管理に効果的であった等の事案が具体的に紹介されました。

#### ●今後に向けての教訓

このような石川県の対応を見聞きし、参加者からは「これまでの考えを再考する良い機会になった。」との声が多く聞かれました。また、この交流を通じ、両県の協会間の関係性は一層強固なものとなりました。改めて、多忙な復興業務の合間を縫ってご来県いただいた石川県協会の両名に、心より感謝申し上げます。今回の研修で学んだ「能登の教訓」を風化させることなく、私たちの地域での活動へと繋げていく決意です。ありがとうございました。



# 全国産業資源循環連合会 令和7年度第2回中国地域協議会 松江にて開催

令和7年10月28日、島根県松江市にて、中国5県の協会幹部、全産連からの来賓をあわせ総勢20名が集い、令和7年度第2回中国地域協議会が開催されました。当協会からは正副会長事務局で6名が参加しました。

会議に先立ち、一行は「島根原子力館」を見学。島根協会のご尽力により、普段なかなか見学することができない島根原発3号炉の建屋内も見学できました。原子力は火力発電に比べ環境負荷を劇的に抑えられるうえ、燃料は供給源が安定しており、核燃料サイクルによって準国産エネルギーとしての高い持続性を備えているとのこと。最新の知見に基づく高度な安全対策が施された現場を視察し、参加者は安定供給と安全確保の両立について理解を深めまることができました。



会議は松江市内で行われ、広域災害時における相互協力体制を構築する「中国四国地域災害廃棄物処理相互応援協定」が主要議題となりました。

司会による経緯説明の後、各県での審議状況を報告。全県において異議なく承認の方向で進捗しており、今後は令和8年3月に予定されている協定締結式に向け、詳細なスケジュール調整が行われることが確認されました。

会議後は懇親会も行われ、県域を越えた強固な連携体制を再確認する貴重な一日となりました。次回令和7年度第3回会議は、3月に岡山での開催を予定しています。



## 第1回「資源循環と環境を考える全国大会」開催 ～環境大臣表彰を岡山西支部 井上實氏が受賞!～

令和7年10月31日、北海道札幌市において「資源循環と環境を考える全国大会」が開催されました。今回から名称を刷新し、記念すべき第1回目となった本大会には、全国から産業廃棄物処理業関係者ら625名が集結。当協会からも会長以下3名が参加しました。

本大会は、従来の「産業廃棄物の適正処理」という根幹を堅持しつつ、さらなる「資源循環の促進」と「業界への社会的理解の向上」を目的に開催され、今回の名称の変更は、業界が持続可能な社会を支える「資源循環の担い手」への進化を象徴するものとなりました。



全国産業資源循環連合の永井会長から開会挨拶の後、続く講演では、環境省環境再生・資源循環局局長の角倉一郎氏と、北海道大学教授の石井一英氏が登壇されました。それぞれ「循環経済を国家戦略に」・「持続可能な社会とサーキュラーエコノミー」と題した講演で、今後の業界指針を示す極めて示唆に富む内容であり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

環境大臣表彰（循環型社会形成推進功労者等表彰）では、産業廃棄物関係事業功労者34名が表彰され、当協会からは、長年にわたり業界の適正化と発展に尽力されてきた、岡山西支部の理事 井上實氏が受賞されました。井上氏をはじめとする受賞者一人ひとりの名前が読み上げられ、会場からはその功績を称える、温かくも盛大な拍手が送られました。



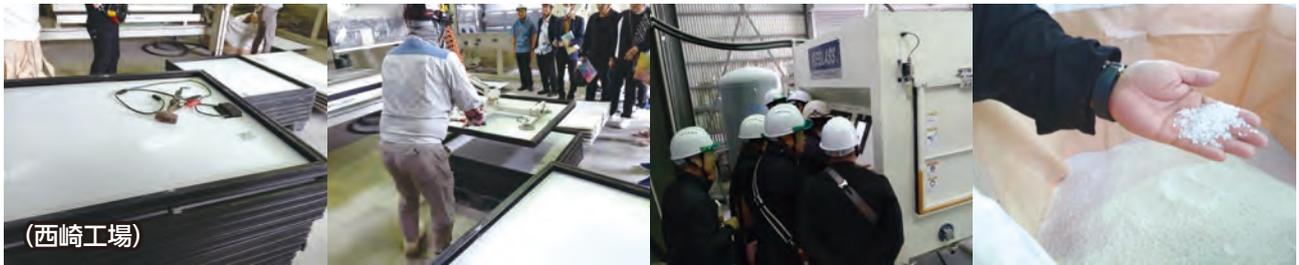
# 宿泊視察研修会 REPORT

**視察先** 沖縄県南城市玉城字前川1188 街クリーン株式会社  
 ①西崎工場(太陽光パネルリサイクル工場)  
 ②営業本部/船越工場(中間処理場)



令和7年11月27日、参加者25名にて宿泊視察研修会(沖縄県)を開催しました。岡山空港から出発した早朝時点の気温は1桁でしたが、現地は20度超え。気温差に驚きながらも、太陽光パネルリサイクル工場を訪問。現地課長から事業化に至った経緯・工程の説明を受け、実際に機械を稼働していただき、分別の過程を見学しました。

令和6年11月に沖縄県内初の認可を受け、令和7年4月より受入れ開始。現時点では完全予持込制で、一般家屋の解体、故障廃棄のものが中心とのことでした。



(西崎工場)

営業本部・船越工場へ移動。当社の事業内容等の説明を受け、沖縄県産業資源循環協会会長でもある赤嶺社長が挨拶をされ、その後中間処理場内を見学。沖縄県では大規模製造業がないため、産業廃棄物は建設系の廃棄物が主流であるとのことでした。



(営業本部・船越工場)

今般の視察に際して、街クリーン従業員の皆様にはとても温かく出迎えていただき、一同円滑に見学ができました。赤嶺社長、伊波課長をはじめ街クリーンの皆様、ありがとうございました。

また、翌日には7月にオープンしたばかりのジャングリアを訪れ、やんばるの森を満喫しました。



岡山西

支部

岡山中央

支部

## 合同 貝殻山クリーン作戦

- 実施日 令和7年11月11日(水) 8:00~11:00
- 実施場所 岡山市南区宮浦地内貝殻山線
- 参加者 環境省中四国地方環境事務所2名  
備前県民局2名、岡山市環境局21名、岡山南警察署3名  
甲浦学区町内会(宮浦、鮑浦、弁天、松尾、郡)35名  
岡山西支部会員28名、岡山中央支部会員29名 以上120名
- 参加車両 8tダンプ、4tダンプ、2tダンプ、軽四トラック 計14台



岡山西支部では、例年実施している貝殻山クリーン作戦を今年も岡山中央支部との合同で実施しました。今回は山火事の影響により一部通行止めの期間があったため、事前に現地の状況を慎重に確認し作業が可能であることを確認したうえでの開催となりましたが、当日は関係機関や地域の皆さまを含め総勢120名もの方にご参加いただきました。

天候にも恵まれ、快晴の中、気持ちよく作業を行うことができました。午前8時までに貝殻山山頂の駐車場へ集合し、開会の挨拶や参加者の紹介、作業手順の確認を行った後、山頂駐車場から二手に分かれて作業を開始しました。



毎年実施している清掃活動ではありますが、道路沿いの斜面などには、廃タイヤや家電製品、家庭ごみなどの不法投棄が見受けられました。参加者の皆さまのご協力により、これらの廃棄物は丁寧に回収され、不法投棄が多く確認された場所には、注意喚起のための立て看板を設置しました。今回は模擬的ではありますが、看板にカメラを設置することで、今後の抑止効果が期待されます。

午前10時を目安に、分別場所となる貝殻山山頂へ再集合すると、多くの回収物を積んだ車両が次々と集まりました。岡山市職員の方々から分別方法の指示をいただきながら作業を進めた結果、分別もスムーズに行うことができ、事故やけが人もなく、予定通り午前11時にすべての作業を無事終了することができました。約3時間の作業ではありましたが、今回のクリーン作戦では、約8トンもの廃棄物を回収することができました。ご参加いただいた皆さま、ご協力いただき誠にありがとうございました。



倉敷  
支部

## 第29回 令和7年度 倉敷地域環境クリーン作戦

- 実施日 令和7年11月11日(水) 9:00~11:00
- 場所 倉敷市福田町福田地内(種松山)
- 参加者 会員41名、倉敷市廃棄物対策課2名
- 使用車両 4台
- 廃棄物量 0.54トン(コンクリートくず、石膏くず、木くず、空き缶、空き瓶、ペットボトル等)
- 看板設置 2本



これまでの不法投棄防止に係る啓発活動が功を奏したこともあり、近年の倉敷支部では、クリーン作戦の実施場所の選定に苦勞することが多々ありました。しかし、今年につきましては、一昨年、昨年とクリーン作戦を実施した場所から道を上がった場所に新たな不法投棄を発見したこともあり、倉敷市廃棄物対策課と協議を重ねた結果、新たな場所においてクリーン作戦を実施することに決まりました。



例年通り、早朝より倉敷支部の役員をはじめ、支部会員の皆さんに多数集合いただきました。井上支部長の挨拶後に、田中幹事から本日の作業の説明があり、ケガや事故のないようしっかりと注意事項等を確認後、回収作業を開始しました。



当初は、不法投棄されている廃棄物量は少ないと予想していましたが、いざ始めると落ち葉の下から、昨年のごみ種とは異なるコンクリートくず等がどんどん出てきました。3班に分かれ、広範囲に手分けして様々な廃棄物を回収しました。中にはコンクリート廃材、石膏のくず等、産業廃棄物に該当するものも多数確認されました。約2時間で予定していた作業範囲の廃棄物はほぼ回収することができ、最後に倉敷市廃棄物対策課の山本氏より会員へ向けにお礼の言葉をいただきました。

例年のことですが、倉敷支部の企業の皆さまには積極的にクリーン作戦に参加いただき感謝します。引き続き、不法投棄一掃に向けて、倉敷支部の皆さんと力を合わせて啓発活動を続けていきたいと思っております。ご協力いただきました皆さまにあらためてお礼を申し上げます。



倉敷南  
支部

## 今年も旧鷲羽山スカイラインの クリーン作戦を実施しました

- 実施日 令和7年10月25日(土)
- 実施場所 旧鷲羽山スカイライン
- 参加者 44名(会員42名、倉敷市廃棄物対策課2名)
- 回収量 可燃ごみ50kg 不燃ごみ100kg

小雨の中、午前8時より開会式の後、約2時間回収作業を実施しました。参加者は、協会会員及び家族、倉敷市の廃棄物対策課の2人、総勢44人で3班に分かれ9箇所、回収作業を実施しました。

今年は、夏過ぎより環境クリーン作戦の実施場所の選定で、倉敷市の廃棄物対策課、市議会議員などに実施場所がないかと色々と相談してきました。しかし、これまでの不法投棄防止に係る啓蒙活動が功を奏したのか、環境クリーン作戦を行える実施場所が見当たらず、仕方なく昨年と同じ旧鷲羽山スカイラインに決定しました。

例年は11月に実施していましたが、今年は猛暑と10月実施という事で、草もまだ伸びており、小雨が降っている状況なので実施場所が危険な為、あまり下の方には行かないよう注意をしてから回収作業に入りました。

量的には少ないですが、コンクリートブロックなど産業廃棄物も相変わらず不法投棄されていました。作業終了後、古い看板を撤去し、新しい産業資源循環協会の看板を設置しました。

最後になりましたが、参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。



井笠

支部

## 井笠支部クリーン作戦

- 実施日 令和7年11月26日(水) 8:30~12:00
- 実施場所 小田郡矢掛町江良地内
- 参加者 30名(支部会員24名、矢掛町2名、県民局4名)
- 回収量 5トン(廃プラ、空き缶、大型ゴミなど)

今回のクリーン作戦は4年前に一度実施した場所で行われました。前回大部分の不法投棄を撤去していた場所にも関わらず4年の歳月で5トンもの新たな不法投棄が発生していた事は残念に思います。



30名が3カ所に分かれて撤去作業に掛かりました。家電等の不法投棄は以前ほどでは無かったですが、大型ゴミに分類される種別の不法投棄が多く、大型ゴミが自治体で回収する頻度が少なく、自力で運ぶにしても30分くらいの場所に持って行くことの煩わしさから安易に不法投棄されているのではないかと推察されました。

今後の課題として大型ゴミの回収頻度を上げる、仮置場を近接に設けるなどの工夫を含め、ゴミ行政のあり方の再考を検討して頂きたいと感じました。またモラル向上のための幼少期からの教育も大切であると思います。

今後もこうした活動を広く知らしめ、不法投棄撲滅の運動を展開していきたいと思っています。

追記、新しいダミーカメラ付き看板の効果に期待しています。



備北

支部

## 備北支部環境クリーン作戦 ～新見市不法投棄ごみ一斉清掃の実施報告～

2025年10月30日、「不法投棄ごみ一斉清掃」が実施されました。この活動は、新見市環境衛生協議会(埜俊二会長)が、市内環境の美化と海洋ごみ削減を目的に開催しているもので、備北支部からも地域貢献活動の一環として、10社・13名が参加協力致しました。

### 官民一体となった出発式

井倉洞の駐車場で行われた出発式には、備北支部のほか、備中県民局新見地域事務所、新見市などから総勢46名が集結しました。主催者である埜会長、および当支部の平松支部長が挨拶を行い、環境活動への想いや分別の重要性、作業時の注意事項を述べた後、清掃を開始しました。



### 活動の様子

参加者は2班に分かれ、新見市草間地内の「絹掛の滝」周辺およびその上流部で活動。火ばさみとゴミ袋を手に川岸を歩き、国道180号線から投げ捨てられたと見られるゴミを丁寧に拾い集めました。



### 回収結果(新見市環境課まとめ)

・可燃ごみ(ビニール袋、ペットボトル等)：約100kg・不燃ごみ(空缶、空瓶等)：約90kg/合計：約190kg・その他：車のタイヤ、自転車フレーム等の大型不法投棄物も回収。



近年の豪雨で木々に絡まったゴミや土砂に紛れたものもあり、作業は困難を極めました。各団体と役割分担しながら手際よく進め、事故もなく無事に終了しました。

### 今後に向けて

埜会長が「人口は減少していても、ごみの量はなかなか減らない。回収作業を続けていくとともに、住民に不法投棄をさせない意識を高めていきたい」と述べられた通り、不法投棄は依然として大きな課題です。昨年に比べ回収量自体は減少傾向にありますが、依然としてタイヤなどの悪質な投棄も見受けられます。当支部としても、「河川へごみを捨てることは絶対にやめてほしい」という願いを込め、来年以降も引き続きこの活動に協力し、美しい新見市の環境を守る活動を推進してまいります。

津山

支部

## 第29回

## 津山支部環境クリーン作戦

- 実施日 2025年11月20日(木) 8:30~11:30
- 実施場所 美咲町越尾地区内
- 参加人数 32名(会員24名、美作県民局3名、美咲町3名、地域2名)
- 回収量 計1,060kg(可燃物、不燃物、粗大ゴミ、古タイヤ、スクラップ、廃家電等)

今年度の津山支部環境クリーン作戦(以下、クリーン作戦)は美咲町越尾地区内で行いました。

今回の対象箇所は、やまなみ街道の途中にある側道の傾斜部分であり、道幅が非常に狭く、2t車でも通行するのに勇気がいるような所でした。その場所にある不法投棄のゴミを何とかしてほしい、と町民から美咲町へ要望があり、クリーン作戦で協力することとなりました。



事前の下見でも大型家電やタイヤは確認できていた為、当初は小型のユニック車を利用して引き上げる計画を立てていました。しかし、実際に確認をお願いした協会員に下見に行ってもらった所、狭い為、安全が確保できない、ということになりユニック車での引き上げを断念しました。その為、今回は全て手作業で道まで一度引き上げ、軽トラックで回収し、最後に大型車両へ積みなおすという工程をとることとしました。大型の物は引き上げるのも一苦労でしたが、全員で協力しながらなんとか全て回収することができたと思います。

昨年は脱輪や獣用の罠など、色々トラブルが発生しましたが、今回は大変ではあったもののトラブルはなく無事終わることができてよかったです。

ゴミの量は1,060kgと近年と比べると非常に多かった印象です。特に、廃家電が多かったのですが、長く放置されていたため風化しており、とても家電リサイクルとして処理できないものも多く、津山市のクリーンセンターも引き取り不可とのことから大半を協会処理することとなりました。



ご協力いただいた協会員の皆様には感謝しかありません。

終わってみて毎回思うことではありますが、一時的に綺麗になってもまた数年後にはゴミが溜まってしまわないのだろうか、と不安になるのが少し悲しい所です。そうならないようにと終わりに吉成支部長が全員の思いを代表して不法投棄をしないことを告知した看板を打ち立てました。今回から看板が鉄杭になり、カメラもついて非常に頼もしくなったので大いに効果を期待しています。



最後に、不法投棄をすれば、一時的にはゴミが手元から離れますが、結果的に山中や海などの自然を汚染し、私たちに悪影響として跳ね返ってきます。今後不法投棄がなくなり、すべてのゴミが適切な方法で処理されることを強く願っています。

# 第15回カンファレンス in さっぽろ 開催報告

10月30日、北海道札幌市にて「第15回カンファレンス in さっぽろ」が開催されました。本カンファレンスは、昨年度の「第14回カンファレンス in えひめ」で各青年部会長が掲げた“夢”や目標について、その後の取り組みを確認し、次年度以降の青年部会活動へ確実につなげていくことを目的として開催されました。

## 開催概要

- 日 時：2025年10月30日
- 会 場：北海道自治労会館 5階 大ホール
- テーマ：「～つなげる。そして、つたえる。～」
- 参加者：全国各都道府県青年部会長・次期部会長候補者ほか



## カンファレンス内容

第1部「Back To Ehime ～つなげる～」では、「えひめ」で宣言した内容を各部会がどう受け止め、何を実践し、どんな成果や課題があったのかを振り返りました。成功事例だけでなく、進展しなかった取り組みや悩みも率直に共有され、各地で青年部会が真剣に活動と向き合ってきたことが強く伝わる時間となりました。この振り返りで、次にやるべきこと、継続すべきこと、改善すべきことが明確になりました。

第2部「For The Next ～そして、つたえる～」では、全国の青年部会が抱える共通の課題や地域特有の悩みについて、活発なディスカッションを行いました。人材不足、役員のなり手問題、活動のマンネリ化など、一人では解決が難しい課題に対しても、仲間の経験やアイデアを持ち寄ることで、新たな視点やヒントが数多く生まれました。また、これらの「現場の声」を全国青年部協議会へしっかりと伝えていくことの重要性を、参加者全員が改めて共有することができました。



## 懇親会

都道府県やブロックの垣根を越えた交流が行われ、青年部ならではの率直な意見交換が活発に交わされました。顔の見える関係を築くことで、今後の連携や情報共有につながる大きな一歩となりました。

## 総括

今回のカンファレンスを通じて、「青年部会は部会長一人で動かすものではなく、想いに共感し、ともに動く仲間がいてこそ前に進める」ということを、改めて全員で確認することができました。部会長と次期部会長候補者がともに参加したことで、活動の継続性と次世代へのバトンを意識した議論が深まり、次年度以降につながる確かな土台が築かれたと感じています。

今後も全国青年部協議会は、各都道府県青年部会と手を取り合いながら、青年部会活動に「夢」を持てる環境づくりと、次世代へ誇れる活動の継承に取り組んでまいります。



## 青年部会勉強会を開催

青年部会では12月19日（金）に、「ピュアリティまきび」にて勉強会を開催しました。

「知らないと損をするスーツの常識」という題目で、株式会社カイトクトレーディング ストアマネージャー赤尾 様にご講演いただきました。



本講演では、スーツをただの服装として捉えるのではなく、相手への敬意や信頼感を伝えるためのビジネスツールとして整える重要性が、具体例を交えて分かりやすく示されました。サイズ感やシルエットの考え方、シャツ・ネクタイの基本、靴やベルトの整え方、TPOに応じた選び方まで、どれも知っているつもりで曖昧になっていた部分が多く、ひとつずつ整理できたのが大きな収穫でした。明日からすぐ実践できる内容で、参加した部会員それぞれに気づきがあったと思います。



特に印象に残ったのは、形だけを覚えるのではなく、「なぜそうするのか」という理由から丁寧に教えていただいた点です。例えばネクタイの起源のお話も、ただの雑学ではなく、背景を知ったうえで身だしなみを整えることが、結果として相手への配慮につながり、自分の自信にもなるのだと学びました。

私たち産業資源循環業界は、現場に立つ機会も多く、日常的にはスーツより作業着が中心という方も少なくありません。私自身も当日は現場の服装でした。ただ一方で、式典や会合、商談など、スーツが求められる場面では第一印象が信頼の入口になります。今回の学びを通じて、青年部会としても、社会人としての基礎力を磨き、業界の魅力や誠実さをより正しく伝えていくことの大切さを再認識しました。

年末の締めくくりの活動として、大変有意義な勉強会となり、部会員のスキルアップはもちろん、部会員同士の交流・結束を更に深める機会にもなりました。今後も学びを重ね、地域・社会から必要とされる青年部会であり続けられるよう、活動を進めてまいります。

# 全国産業安全衛生大会に参加して

一般社団法人岡山県産業資源循環協会 労働安全衛生委員会  
 大本修身、室山晃一、石原大蔵、中野貞治

9月10日～12日にインテックス大阪で行われた全国産業安全衛生大会に参加してきました。

様々な分科会が催されておりましたが、化学物質関係の分科会が多く開催されているように感じました。その中でも「手袋の使用時間を透過試験で確認しよう」は事業者が自ら透過開始時間を確認し、適切に手袋を使用する重要性を感じました。また、化学物質の自律的な管理についての分科会を拝聴させて頂きました。化学物質の管理はなかなか大変で、化学物質の管理や使用する場合のリスクアセスメント、保護具の選定などかなりの労務が発生

しますが、必要なポイントの  
 見つけ方等勉強になりました。

そして同時に行われております  
 緑十字展にも参加しました。今回、注目したのは以下の4  
 点です。

1つ目は、先ほどの化学物質の延長でSDS（セーフティ・データ・シート）の管理やリスクアセスメントの業務を手助けしてくれる株式会社ケミカンです。こちらは、化学物質のSDSをデータ化し保存することによって、その保存したデータを厚生労働省が使用している「Create-Simple」という簡単な化学物質リスクアセスメントツールに落とし込み、リスクアセスメントを行える物です。SDSを入れ込むだけで大半の情報を入力でき、業務効率を高めてくれるツールです。一度登録してしまえば、容易にリスクアセスメントを行えるため、多くのSDSを登録していくことで価値を高めていくツールだと感じました。

2つ目は、熱中症対策用品です。本年度から熱中症対策が罰則付きの法改正があったことで対策用品が多く並んでいました。中でも多くのブースで水冷服を取り扱っていました。価格帯や機能性を各社がそれぞれ重視し、展示していました。全体的に背中全体を冷やすという商品が多くあり、空調服との組み合わせでさらに快適に作業ができるとのことでした。また、価格が高いということから、クールベストタイプの展示を行っており、バッテリーを使用しないことから比較的安価で購入ができるような物も並べてありました。



3つ目は、株式会社基陽のプロミネです。これは女性用のフルハーネスで、女性の体形をイメージして作られた物です。現在、建設業界も女性が多く進出していますが、物としては男性用の者が多く、女性用の物があってもバリエーションに乏しい事は見ていて感じるどころでしたが、カラーバリエーションや女性ならではのラインが気にならないような工夫等をされていました。男性でも、太もも部分の食い込みが気になる声を現場で聞いたりします。それに、ベルトの材料にシートベルトの材質を使用しているとのことでした。肌触りや強度を考え取り入れたそうです。また、もともとナイロン製の道具類収納バッグを製造していたことから、それらの物についてもデザイン性と機能性を有した物をラインナップしています。男性ではタジマ、サンコー、3M、谷沢、藤井電工が男性作業者の大多数を占めています。女性用のメーカーがこれから伸びる余地は十二分にあると感じました。



4つ目は、体験道場です。毎年、保護具の重要性を体感するコーナーがあります。今回はヘルメットコーナーの体感の紹介をします。写真で見るとヘルメットが無い場合とある場合でどれほど衝撃に違いがあるかを数値で見せてくれます。同じようにたたいた場合の数値は驚くべき変化となります。ヘルメットがある場合で同じようにたたいた場合の数値を見ることでヘルメットの重要性を認識でき、着用することの必要性を感じることが出来ます。その他、切創手袋、保護メガネ、耳栓、マスク、ハーネス等の体感が出来て、着用についてや使用についてのアドバイスももらえますので是非体感してみてください。

今回は大阪という事で来場者数も見込みが18,000人のところ、27,921人と約10,000人も多く来場しており、多くの方が関心を寄せるイベントになっています。今回も多くのブースを回りましたが、中でもケミカンのブースでお会いした筑波大学の准教授のリスクアセスメントについての話は面白く分かりやすいものがありました。今回も3日間参加しましたが、それでも時間が足りず、話が聞けないブースもありました。今回紹介した、女性用のハーネスについても昨年から展示会に参加しているとのことでした。多くのブースがあり、様々な展示をしています。各社にとって有益になる物も多く展示されていると思います。

来年は北海道で行われる予定となっています。是非参加して頂きたいと思っています。

# 私の趣味は「組み合わせること」

岡山東支部 ㈱野崎運輸機工 野崎剛正

岡山東支部の野崎です。

キャンプ、バイク、ゴルフ、車中泊、シーシャ。  
気づけば趣味はどんどん増えていきました。

でも、どれか一つを極めるというより、  
それぞれを自由に組み合わせる楽しむのが、今の自分のスタイルです。

たとえば、車中泊をしながら各地のゴルフ場を巡る旅。  
朝日を浴びて目を覚まし、そのままラウンドへ向かう時間は、  
ホテル泊では味わえない特別な感覚があります。

キャンプでは、焚き火の横でシーシャを作ります。  
自然の音と煙に包まれながら過ごす夜は、  
時間がゆっくり溶けていくようで、心まで整っていきます。

バイクで走り、キャンプをして、車中泊をして、ゴルフをして、  
その合間にシーシャを楽しむ。  
一見バラバラな趣味も、組み合わせることで一つの「休日」になります。

「こうしなきゃいけない」よりも、  
「こうしたら面白そう」。  
そんな感覚を大切にしながら、  
今日も自分なりの楽しみ方を探しています。



会員企業紹介 岡山東支部

資源循環型社会に貢献 株式会社 日本資源開発社

届けたいのは、自然に優しい技術力。

私たちは、有機資源を有効活用し、良質な有機質堆肥をつくり出すことに成功しました。最適な土壌改良材として大いに力を発揮し、美しい花と緑の環境づくりにお役立ちします。



当工場全景

当社製品(アースファットン)の特長

1. 理想の有機質土壌改良資材

- ・ 樹皮を主原料とし当社開発の特殊発酵装置で熟成精製された良質な活性バーク堆肥です。
- ・ 高温発酵しているため、悪臭がなく、病害菌は死滅し熟成度に優れる。

2. 連作障害の抑制

- ・ 土壌有効微生物の含有で天敵菌を働かせ、有害菌を捕食又は制御する働きで、土壌微生物間の勢力バランスを整えます。
- ・ 根粒バクテリアが共存し、根をコーティングすることにより、病害菌の侵入を防ぎ発病率を低下させます。

3. 土壌の物理性の改善

- ・ 土壌を膨軟化し保肥力、保水性、通気性が良くなり物理性が改善する。

4. 微量元素の補給

- ・ フミン酸との結合形態で土壌有効微生物の増殖とフミン酸の効き目が相乗的に働き、植物への肥効増進に役立ち耕地に活力を与えます。



本来、土壌には1g中に約10億個の微生物が生存しているものですが、化学肥料や土壌消毒剤の使用が微生物間のバランスを失わせ、瘦土化してしまいます。豊かな土を蘇らせ、環境美化に役立てるために開発されたのが活性バーク堆肥「アースファットン」です。当社のシステムにより汚泥等との発酵から生まれたこの商品は、農業用、園芸用、植栽用、芝張用、法面緑化など広い範囲で活躍しています。



- 会社名 株式会社 日本資源開発社
- 所在地 本社・工場 〒709-0607 岡山市東区浦間1102  
TEL (086) 297-2228 FAX (086) 297-2314  
Email: nsk@nihonshigen.co.jp
- 会社設立 昭和51年11月(創業 昭和45年)
- 代表者 代表取締役 原 亮(はら まこと)
- 資本金 4,500万円
- 年商 5億5,000万円
- 従業員数 30名
- 事業概要 有機質堆肥(バーク堆肥)、家庭園芸用土製造
- 工場面積 20,047㎡
- 堆肥生産能力 年間45,000トン
- 堆肥化施設 処理能力 150トン/日
- 加入団体 全国バーク堆肥工業会会員  
(一社)岡山県産業資源循環協会  
岡山県産業廃棄物処理業協同組合
- 許認可 特殊肥料生産業者届出  
普通肥料登録  
産業廃棄物処理業(収集運搬・処分)  
ISO9001:2015  
エコアクション21
- 主要設備 原料貯留槽・混合攪拌処理装置  
エアレーション発酵装置  
オーバーサイズ破碎装置  
バーク堆肥専用全自動選別包装装置(1ライン)  
園芸培養土専用全自動選別包装装置(3ライン)  
脱臭装置(弱酸性水高圧ミスト噴霧方式)

会員企業紹介 賛助会員



## 公益財団法人 岡山県環境保全事業団

～わたしたちは環境関連事業を通して社会の持続的発展に貢献します～

みずしま資源再生センターで焼却灰を再生しています。

### みずしま資源再生センター



みずしま資源再生センター

2023年に稼働を始めた「みずしま資源再生センター」では、これまで埋立処分又は県外に運ばれリサイクルされていた焼却灰を1,000℃以上の高温で「焼成」することで無害化し、土木工事資材などに再生しています。焼却灰が県外に運ばれることによる長距離運搬に伴う環境負荷の軽減や処分場の延命化につながっています。

○焼却灰の処理に関するご相談お待ちしております○

焼却灰の処理に関するお問い合わせ  
水島事業所 TEL : 086-440-0666

### 焼成品「ハレスナ」



焼却灰焼成



焼成品 (ハレスナ)



土木工事に活用

焼却灰を焼成した焼成品「ハレスナ」は土木・建築・造園資材などに再利用し、山土や海砂などの天然資源の消費を抑制することで、自然環境の保全に寄与します。

○ハレスナに関するご相談お待ちしております○

焼成品「ハレスナ」に関するお問い合わせ  
企画課 TEL : 086-298-2123

## 研修会の開催報告

### ▼産業廃棄物管理者研修会

日 時：令和7年9月5日 13:30~16:00

会 場：岡山市北区芳賀 テクノサポート岡山

参加者：申込67名、参加63名

- ・廃棄物処理法改正について（岡山県 加藤大貴氏）
- ・現場における熱中症対策強化について（協会 石原大蔵氏）



### ▼産業廃棄物実務担当者研修会（1回目）

日 時：令和7年10月23日 13:30~16:00

会 場：岡山市北区芳賀 テクノサポート岡山

参加者：申込43名 参加38名

- ・産業廃棄物の委託処理に係る法令等（備前県民局 山本）
- ・委託契約書及びマニフェストの作成実習（協会 岩本事務局長）



### ▼処分業者向け項目追加研修会（JWセンター主催）

日 時：令和7年11月5日 14:00~16:00

会 場：岡山市北区芳賀 テクノサポート岡山

参加者：申込91名

- ・制度変更の概要、項目、情報パターン、スケジュール、  
操作デモンストレーション（JWセンター 鶴島部長、石原氏）



### ▼岡山県災害廃棄物研修会（岡山県主催）

日 時：令和7年12月23日 13:00~16:00

会 場：岡山市北区芳賀 テクノサポート岡山

参加者：申込43名

- ・災害廃棄物処理の実際（石川県志賀町 的場氏）
- ・発注仕様書等関連資料について（岡山県 山 氏）
- ・「西日本豪雨災害廃棄物処理から学ぶ処理実務」（協会 三好副会長）



## 新入会員のご紹介

令和7年10月～令和8年1月に入会された新入会員さまです。よろしくお願いいたします。

### 【賛助会員】

コベルコ建機日本株式会社  
岡山営業所

所長 水野 真理

〒700-0953

岡山市南区西市540-1

TEL.086-239-2332 FAX.086-239-2334

令和7年12月5日入会

## 令和7年度今後の行事予定のお知らせ

名称	日時	場所
再資源化事業等高度化法 説明会	令和8年2月3日(火) 14:00～16:00	岡山市北区奉還町 岡山国際交流センター
産業廃棄物実務担当者研修会 (2回目)	令和8年2月10日(火) 13:30～16:00	岡山市北区芳賀 テクノサポート岡山

## 事務局からのお知らせコーナー

### 委託契約書に含まれるべき事項の追加について

令和8年1月1日から、委託契約書の適正処理に必要な情報に関する事項が追加され、全国産業資源循環連合会の委託契約書標準様式及び「廃棄物情報の提供に関するガイドライン」(WDSガイドライン)の内容が追加・変更されました。

①標準様式1～標準様式3の一部(下線部が追加内容)

○改訂条文

第3条第1項 カ 石綿含有産業廃棄物又は特定産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、その事項

第3条第1項 キ 委託者が特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律第2条第5項に規定する第1種指定化学物質等取扱事業者である場合であって、かつ、委託する産業廃棄物に同条第2項に規定する第1種指定化学物質が含まれ、又は付着している場合には、その旨並びに当該産業廃棄物に含まれ、又は付着している当該物質の名称及び量又は割合

第3条第1項 ク その他取扱いの注意事項

②標準様式4の「適正処理に必要な情報」の記載欄

産業廃棄物処理委託契約約款第3条第1項に基づく委託業務の内容(4)の「適正処理に必要な情報」の記載欄の記載項目の中に次の項目を追加する。

・第一種指定化学物質の有無、並びに当該物質の名称及び量又は割合

③WDSガイドラインに含まれる「廃棄物データシート」(WDS)が変更されました。

<https://www.env.go.jp/recycle/misc/wds/>





#### 写真ガイド「みんなのツリー」

廃材を使ったアート作品づくりを通じて、リサイクルの大切さに気づき、やってみることの楽しさを感じてもらうため、協会で毎年開催している「廃材アートコンテスト」。第3回を迎えた令和7年12月、岡山県内の小学生156名の応募作品の中から、入賞20作品を選び表彰式を行いました。使わなくなった緑色の紙袋で樹(木)を表現し、子供たちが願いを書いた飾り物を付けて「みんなのツリー」が完成

## 編集後記

丙午の時代には、言い伝えが人々の暮らしや人生の選択に影響を与えていました。今では生活様式や価値観が多様化し、住まいや働き方、家族のかたちも大きく変わっています。それとともに、私たちの暮らしから出る廃棄物の内容や量、向き合い方も変化してきました。日々の変化を大切にしながら、よりよい環境と社会を次の世代につないでいきたいものです。本年もどうぞよろしく願いいたします。

By o33

### 会報・くりにん岡山第72号

令和8年1月31日発行

発行 一般社団法人岡山県産業資源循環協会  
〒701-1152岡山市北区津高628-6  
TEL086-254-9383 FAX086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

## 倉敷企業株式会社

代表取締役 井上正士

〒七一〇—〇八四二

倉敷市吉岡二九三—一

電話 〇八六—四二四—六四二九

FAX 〇八六—四二一—九一九〇

## 新岡山陸運株式会社

代表取締役 木下聖士

〒七〇二—八〇〇五

岡山市中区江崎七四六—三

電話 〇八六—二七六—一—一

FAX 〇八六—二七六—二二六六

## 株式会社ビーシー工業

代表取締役 富本泰司

〒七二一—八〇五一

倉敷市中畝九—一二—三七

電話 〇八六—四五六—三四二一

FAX 〇八六—四五六—五八四三

## 株式会社西日本アチューマツトクリン

代表取締役社長 藏本悟

〒七〇三—八二四五

岡山市中区藤原五〇—一

電話 〇八六—二七二—八〇四二

FAX 〇八六—二七一—一〇五〇



## タマタイ産業株式会社

代表取締役 大塚雅司

〒七〇〇—〇九三五

岡山市北区神田町二丁目一—二五

電話 〇八六—二二四—三二九一

FAX 〇八六—二二三—六三五四

## 株式会社アースクリエイト

代表取締役 三好員弘

〒七一四—二二一五

小田郡矢掛町中一七〇

電話 〇八六—八二—三〇三一

FAX 〇八六—八二—三四〇〇

## 有限会社和気環境サービス

代表取締役 松本公子

〒七〇九—〇四二一

和気郡和気町日室一三九

電話 〇八六—九—九三—〇四七三

FAX 〇八六—九—九三—一五五六

## 株式会社岡清組

代表取締役 藤井武士

〒七〇〇—〇八六六

岡山市北区岡南町二丁目五—七

電話 〇八六—二三三—七二三〇

FAX 〇八六—二二六—〇一一三

### 株式会社 野崎運輸機工

代表取締役 野崎 剛正

〒七〇四―八一九四

岡山市東区金岡東町二丁目一四―三三

電話 ○八六―九四二―三三八一

FAX ○八六―九四三―七九二七

### 栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀川 英治

〒七〇〇―〇九四三

岡山市南区新福二丁目七―二〇

電話 ○八六―二六五―一二三四

FAX ○八六―二六五―七七二二

### J&T環境株式会社

倉敷営業所

所長 阪井 英明

〒七一二―八〇〇六

倉敷市連島町鶴新田二一七七―一

電話 ○八六―四四七―〇〇八一

FAX ○八六―四四七―〇〇八二

### 牛窓港湾運輸株式会社

代表取締役社長 田中 大一

〒七〇一―四三〇一

瀬戸内市牛窓町長浜四九五九―二

電話 ○八六九―三四―四九七八

FAX ○八六九―三四―四一五五

### 有限会社 井上設備

代表取締役 井上 實

〒七〇二―八〇二四

岡山市南区浦安南町五八四―三

電話 ○八六―二六三―八七四五

FAX ○八六―二六三―八四六四

### 株式会社 フルカワ商事

代表取締役 古川 悦生

〒七二一―八〇一一

倉敷市連島町連島一〇六一―一

電話 ○八六―四五四―五二二八

FAX ○八六―四五四―七三三五

### 株式会社 平松運輸

代表取締役 平松 敬史

〒七一一―〇二〇七

高梁市川上町仁賀六二七

電話 ○八六六―四八―三五八八

FAX ○八六六―四八―三二六一

### 有限会社 片岡久工務店

代表取締役 片岡 重治

〒七〇二―八〇三三

岡山市南区福富東二丁目一七―一三

電話 ○八六―二六三―二〇一〇

FAX ○八六―二六三―二四六八

### 有限会社 吉美

代表取締役 石原 恵一

〒七〇一―〇一六五

岡山市北区大内田一三六七―一

電話 ○八六―二九三―一〇五二

FAX ○八六―二九二―二〇二〇

## 山陽環境開発株式会社

取締役会長 岩元 博

〒七一八—〇〇〇三

新見市高尾二三〇四—一

電話 ○八六七—七二—五四一五

FAX ○八六七—七二—一七八〇

## 坂川建設鋳業株式会社

代表取締役 坂川 晃一

〒七一四—一四〇五

井原市美星町宇戸一〇五五

電話 ○八六六—八七—二六二六

FAX ○八六六—八七—二六二七

## 福栄産業株式会社

代表取締役 田中 康浩

〒七二一—八〇五五

倉敷市南畝六丁目八—四一

電話 ○八六—四五—六二四七

FAX ○八六—四五—一一七〇

## 株式会社 フクイクリーン

代表取締役 上杉 有梨

〒七〇七—〇〇二四

美作市楯原下一四五

電話 ○八六八—七二—一一一九

FAX ○八六八—七三—〇四五五

今年もよろしく  
お願い申し上げます

## 株式会社 新岡山工業

代表取締役 田口 孝利

〒七〇八—一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原字稲千一〇四八—二

電話 ○八六八—六二—二七七五

FAX ○八六八—六二—二七七六

## 株式会社 美建ビルサービス

代表取締役 小林 建雄

〒七一〇—〇〇一六

倉敷市中庄二二四八—四

電話 ○八六—四六三—一三五一

FAX ○八六—四六三—一七七九

## 小野建設株式会社

代表取締役 小野 勝己

〒七〇一—一二〇五

岡山市北区佐山一三六四—三

電話 ○八六—二八四—七一六一

FAX ○八六—二八四—六八五四

## 竹藤建設株式会社

代表取締役 竹藤 健太郎

〒七一九—三三〇一

真庭市久世二九二〇—十二

電話 ○八六七—四二—一一一〇

FAX ○八六七—四二—五〇二七

HITACHI

Reliable Solutions

LANDCROS

可搬式充電設備

Go+ENE

MOBILE ENERGY STORAGE SYSTEM

バッテリー駆動式ショベル  
ZX55U-6EB



 日立建機日本株式会社 中国・四国支社岡山営業所

〒710-0261

岡山県倉敷市船穂町船穂 1216-10

TEL:086-552-5240 / FAX : 086-552-5241

Go-ENE公式特設ページ  
右記のQRコードから  
詳しくご覧いただけます



